第1　渡島管内の概況

1．管内の概況

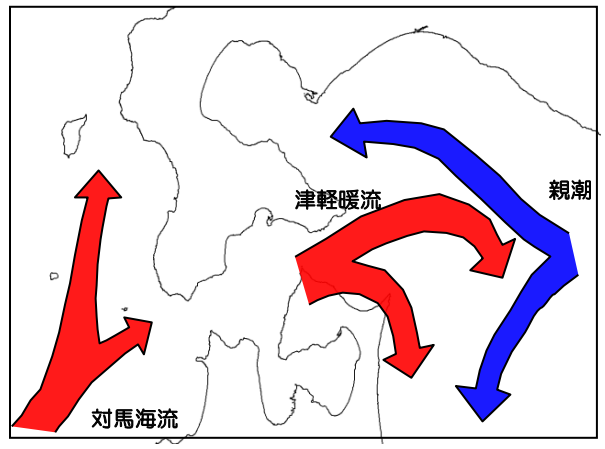
渡島管内は、北海道南西部、渡島半島に位置し、日本海、津軽海峡及び太平洋・噴火湾の3つの海域に面しており、南西端の松前町から北端の長万部町までの430.5kmに及ぶ非常に長い海岸線を有しています（旧熊石を含む）。

総面積は3,937.5k㎡で全道の4.7%を占め、長崎県（約4,131k㎡）に匹敵する広さです。2市、9町からなり、人口は400,823人と全道の7.5%を占めています。

市町村名	人口（人）	世帯数（戸）	総面積（km²）	海岸線(km)	備　考
松前町	7,539	4,147	293.3	73.2	
福島町	4,232	2,156	187.3	33.1	
知内町	4,475	2,074	196.8	19.0	
木古内町	4,288	2,243	221.9	15.7	
北斗市	46,829	22,148	397.4	20.4	H18.2.1合併（上磯町、大野町）
函館市	262,519	143,249	677.9	125.8	H16.12.1合併（函館市、戸井町、恵山町、椴法華村、南茅部町）
鹿部町	4,009	1,851	110.6	14.6	
森町	15,892	7,642	368.8	34.8	H17.4.1合併（森町、砂原町）
八雲町	16,960	8,544	956.1	55.7	H17.10.1合併（八雲町、熊石町）
長万部町	5,517	3,055	310.8	38.2	
七飯町	28,563	13,728	216.8	—	
合　計	400,823	210,837	3,937.5	430.5	

出典：住民基本台帳（平成30年1月1日現在）、平成27年国勢調査、国土交通省水管理・国土保全局編「海岸統計（平成28年版）」
国土交通省国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調（平成29年10月1日現在）」

2．水産業の概況



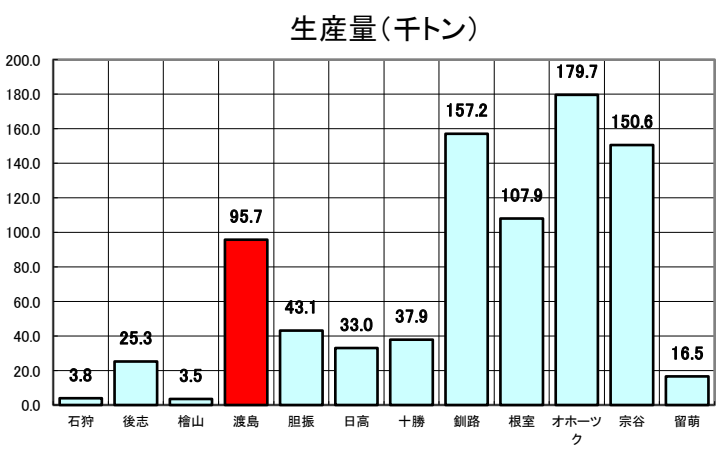
渡島管内では、日本海側は対馬海流（暖流）が北上し、その一部は津軽海峡を経て太平洋側に達します。また、太平洋側は、栄養豊富な親潮（寒流）が北から流入します。特に、暖流と寒流の混じり合う海域は魚の餌となるプランクトンが多く発生する好漁場となっています。

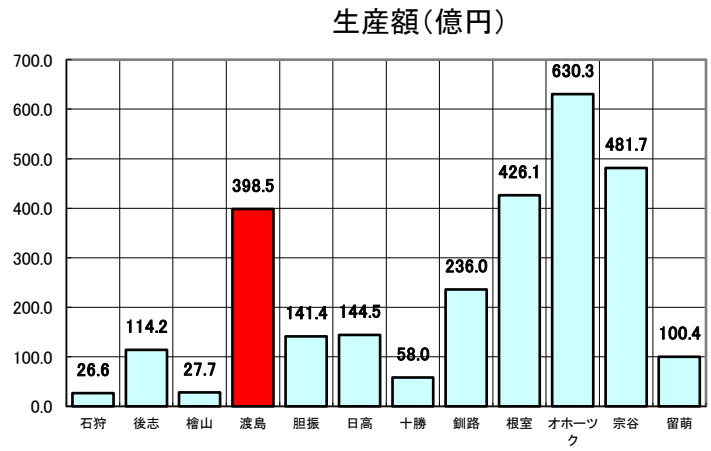
日本海側では、うに・あわび等の採介藻漁業、いか釣り漁業、まぐろ一本釣り漁業など、津軽海峡から太平洋側では、こんぶ漁業・養殖業、まぐろ延縄漁業、各種刺し網漁業や定置網漁業など、噴火湾では、ほたてがい養殖業、かれい刺し網漁業、えびかご漁業など、海域ごとに多種多様な漁業が行われています。

平成29年の漁業生産高は、生産量は95.7千tで全道（854.2千t）の11.2%、生産額は398.5億円で全道（2,785.4億円）の14.3%を占め、道内有数の漁業生産地域となっています。

近年は、資源水準の低迷などから漁業生産高は減少傾向にあり、漁業就業者の減少や高齢化が進んでいます。こうした中、振興局では、適切な資源管理や育てる漁業の推進、地域水産物の消費拡大や付加価値の向上、担い手の育成などの取組みを進めています。

【振興局別漁業生産高（平成29年）】





出典：北海道水産林務部「北海道水産現勢」

トピックス　平成３０年を振り返って

○　ブリの消費拡大に向けた取組がスタート

渡島管内で漁獲が増加傾向にあるブリの需要を喚起し、漁業者の所得向上と、イカ加工業者の補完原料としての活用を目的に、平成３０年度から振興局の独自事業としてブリの消費拡大推進事業を進めています。

【５月】函館市内の漁協や水産加工団体、行政等で構成する「はこだて・ブリ消費拡大推進協議会」を設置し、ブリのＰＲイベントや新商品開発に関する協議を開始しました。

【10月】「函館いか祭り」で、炭火で焼き上げた函館産ブリの「照焼き」と「塩焼き」を格安で販売。用意した300食は約３時間で完売となりました。

【10月】ブリを使った新たな加工品の開発を支援するため、試作に必要となる原料を、函館特産食品工業協同組合の７社に提供。各企業によって新製品の開発が進められています。

【11月】「はこだて・ブリ料理コンテスト」を開催。全国から６０件のレシピ応募があり、書類選考を通過した７件について最終審査を行い、上位３作品を選出しました。最優秀賞の「ブリユッケ」をはじめ、承諾の得られたレシピについては、水産課のホームページで公開しています。

○　台風２１号、北海道胆振東部地震による漁業被害（９月）

９月４～５日に通過した台風２１号によって、ホタテガイ養殖施設や定置網に大きな被害を受けました。また、９月６日に胆振東部で発生した地震によって北海道全域が停電する「ブラックアウト」が起き、種苗センターのウニやクロソイがへい死するなどの被害が生じました。

振興局では、「地域づくり総合交付金」を活用して、ホタテガイ養殖施設の強靭化を図ったほか、「海岸漂着物等地域対策推進事業」を活用して、漁港に堆積した漂着物の処理への支援を行うなどの対策を講じました。

○　平成３２年度全国漁港漁場大会の函館市開催が決定（１０月）

１０月２５日に開催された全国漁港漁場協会理事会で、平成32年度に函館市で「全国漁港漁場大会」を開催することが決まりました。

全国から1,500人以上の関係者が出席する同大会は、漁港・漁場・漁村の総合的整備と漁港の合理的利用の促進を目的として、各都道府県の持ち回りで開催され、北海道ではこれまで、昭和２９年、４１年、平成６年の３回開催されていますが、いずれも札幌市での開催であり、札幌市以外での地方開催は今回が初めてとなります。

【参考】 渡島総合振興局管内の概要

1　基本項目

項　目	全　道	渡島管内	割　合	振興局別順位	摘　　要
面積(km2)	83,424	3,937	4.7%	9位	全国都道府県市区町村別面積調（国土交通省国土地理院）（平成29年10月1日現在）
人口（人）	5,339,539	400,823	7.5%	3位	住民基本台帳（総務省）（平成30年1月1日現在）
漁業就業者数（人）	29,652	6,421	21.7%	1位	2013年漁業センサス（農林水産省）（平成25年11月1日現在）
漁業経営体数	12,882	3,397	26.4%	1位	2013年漁業センサス（農林水産省）（平成25年11月1日現在）
沿岸漁協数	71	14	19.7%	1位	北海道水産林務部調べ（平成30年8月1日現在）
港湾数	41	5	12.2%	3位	北海道水産林務部調べ（平成30年4月1日現在）
漁港数	243	57	23.5%	1位	北海道水産林務部調べ（平成30年4月1日現在）
漁船数	24,741	5,783	23.4%	1位	北海道漁船統計表（平成29年12月末現在）
漁業生産量（t）	854,233	95,736	11.2%	5位	平成29年北海道水産現勢
漁業生産金額（百万円）	278,541	39,847	14.3%	4位	平成29年北海道水産現勢

※八雲町熊石地区を含む

2　主要魚種の漁獲量（平成29年）

項　目	全　道	渡島管内	割　合	振興局別順位	摘　　要
ほたてがい	282,256	26,209	9.3%	4位	1位：宗谷(106,512t)
するめいか	19,075	8,955	46.9%	1位	
ぶり	7,686	4,454	57.9%	1位	
すけとうだら	119,030	12,756	10.7%	4位	1位：釧路(40,462t)
こんぶ	13,091	4,714	36.0%	1位	
さけ	55,274	2,730	4.9%	5位	1位：オホーツク(24,838t)
さば	11,294	2,475	21.9%	2位	1位：釧路(7,663t)
みずだこ	15,372	1,340	8.7%	5位	1位：宗谷(3,406t)
やりいか	640	556	86.9%	1位	
なまこ	1,972	359	18.2%	2位	1位：宗谷(756t)
まぐろ	1,017	933	91.7%	1位	
きたむらさきうに	397	128	32.2%	1位	
わかめ	140	116	82.9%	1位	
くじら	15	15	100.0%	1位	

出典：平成29年北海道水産現勢　　※単位：トン、八雲町熊石地区を含む